



羅臼町議会だより



しれとこ

第1回臨時議会	2
第2回定例議会	3
一般質問	4~6
議会報告会	7
Zoom up! (地熱利用視察研修)	8~9

平成28年

第**149**号

8月10日



ちからを合わせて (春松小学校)

平成28年 第1回臨時議会

5月26日、平成28年第1回臨時議会が開催され、平成27年度一般会計専決処分及び平成28年度一般会計補正予算並びに人事案件や条例の一部改正が審議され、すべて原案通り可決された。
※数字は万円未満四捨五入

専決 処分

平成27年度羅臼町一般会計補正予算

補正額 **1億4,096万円** 総額 **39億2,558万円**

総務費	・ オール根室ブランド強化推進事業経費 ・ 各種積立金 ・ その他町有財産に要する経費 ・ ふるさと納税に要する経費 ・ 地域提案型事業に要する経費	1,092万円 1億5,378万円 △115万円 △829万円 △200万円
衛生費	・ 一般廃棄物処理に要する経費等	△489万円
土木費	・ 町道維持補修及び除雪に要する経費	△570万円
教育費	・ 小学校管理に要する経費 ・ 公民館管理運営に要する経費	△80万円 △90万円

一般 会計

平成28年度羅臼町一般会計補正予算

補正額 **147万円** 総額 **41億7,049万円**

教育費	・ 中学校の管理に要する経費 ・ 温水プール管理に要する経費	77万円 70万円
-----	-----------------------------------	--------------

鮮魚取扱高

(平成28年6月14日現在)
(単位：千円)

魚種名	当期取扱高	前年度同期取扱高
ほっけ	33,888	62,953
ます	11,628	11,540
すけそ	834,064	620,512
たら	450,562	289,223
かれい	42,309	45,265
めんめ	60,835	84,830
うに	233,979	259,514
ときさけ	38,194	48,409
その他	231,291	264,868
合計	1,936,750	1,687,114

※主な魚種(抜粋)
※うには殻つき、塩水うに含む
※千円未満四捨五入

二十一日

任期・平成二十八年六月二十二日
～平成三十一年六月

人事案件
・ 羅臼町固定資産評価審査委員会委員の任命
横岩 信子氏(再任)
嶋 勝彦氏(新任)
白濱 修治氏(新任)

財産の取得
・ 移動図書館バス一台

条例改正
・ 羅臼町国民健康保険税条例の一部を改正する条例



白濱 修治氏



嶋 勝彦氏



横岩 信子氏

平成28年 第2回定例議会

6月16日、平成28年第2回定例議会が開催され、平成27年度羅臼町一般会計繰越明許費、平成28年度一般会計補正予算、条例改正等が審議され、すべて原案通り可決された。
※数字は万円未満四捨五入

繰越明許費 ※当該年度では事業実施が不可能の為、翌年度に繰り越す事業費

総務費	・ オール根室ブランド強化推進事業	1,092万円
	・ 町営住宅等長寿命化工事事業	1,100万円
	・ マイナンバー利用環境構築費用負担金事業	3,364万円
民生費	・ 年金生活者等支援臨時福祉給付金事業	1,129万円

一般会計

平成28年度羅臼町一般会計補正予算

補正額 **1,927万円** 総額 **41億8,976万円**

総務費	・ マイナンバーカード交付事業に要する経費	93万円
民生費	・ 低所得の障害・遺族基礎年金受給者向け臨時福祉給付金経費	31万円
衛生費	・ 修学資金に要する経費	120万円
	・ 葬斎場・霊園管理運営に要する経費	26万円
	・ 水産系廃棄物処理施設管理運営に要する経費	108万円
農林水産業費	・ 治山事業に要する経費	1,500万円
	・ ウニ種苗生産施設管理運営に要する経費	49万円



瑞宝双光章が授与されました。おめでとうございます。

本間正子氏に 瑞宝双光章授与

平成二十八年、春の叙勲におきまして、保護司として永年更生保護活動に貢献した功績により瑞宝双光章が授与されました。

意見書

- ・ 世界自然遺産の保全管理にかかる全国的な予算枠の拡大を求める意見書
- ・ 子どもの医療費無料化の制度化と、補助金減額の廃止を求める意見書

条例改正

- ・ 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- ・ 羅臼町町税条例等の一部を改正する条例



松原臣議員が北海道町村議会議長会より表彰されました。おめでとうございます。

松原臣議員が北海道 町村議会議長会より 表彰されました

この度、永年の議員活動が認められ、北海道町村議会議長会より自治功労者表彰が贈られました。

行政報告

平成二十八年度羅臼町防災訓練の実施結果について

規約変更

- ・ 北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更
- ・ 北海道市町村総合事務組合規約の変更
- ・ 北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

行政の考えを問う

3人の議員による7件の質問がなされました。

平成28年

第2回定例議会

一般質問

議員 高島

**小学生・中学生（義務教育）の
通学費は全額補助すべきである**

町長 町内循環バスを一律百円にした経緯を尊重したい

高島 讓二議員



質問

平成二十年に知円別小・中学校、平成二十二年には飛仁帯小学校、植別小・中

学校が廃校され、小学生はそれぞれ羅臼小学校と春松小学校に統合され、中学生はそれぞれ羅臼中学校と春松中学校へと統合されました。

さらに、三年後には春松中学校と羅臼中学校が統合され羅臼中学校の敷地内に新校舎が建設される予定です。

あり、多くの子供たちがバス通学を余儀なくされます。

現在、廃校となった岬町・

海岸町・峯浜町の子供たちは路線バスの定期代（一か月小学生千五百円、中学生三千円）を自己負担する事によって通学をしています。

一年間にとすると小学生一人一万八千円、中学生一人三万六千円を負担しており、子供の多い家族の通学費の経済的負担は大きい。

同じ学校に通い、同じ学費をするのに、廃校になった地域の子供たちはバス代を支払い、徒歩で通える子供たちとの間に、経済的な不公平感、不平等感があるてはならないと考えます。

私は、義務教育期間の通学費の負担は人口減少問題、子育ての環境整備、また経済的不公平、不平等等を是正

するためにも町として早急に取り組むべきであり、義務教育期間のバス通学定期代を全額補助すべきとの考えです。

因みに本町を除く管内一市三町は、通学をすべてスクールバス（無料）にて対応しています。

湊屋 町長

平成十五年から現在の町内循環バスの運行を行っているが、その準備段階で検討委員会を立ち上げ、議会でも十分議論を頂きながら、児童生徒の通学と高齢者の通院に配慮した運行体制としてきた。

公平な負担と生活路線を住民が守る意味合いも込めて運賃を一律百円と有料化し、園児は無料、小中学生、高校生には低額の料金設定としている。

現状では、この運行体制が導入された経緯や経過を尊重したい。

ご理解を賜りたい。



路線バス通学

一般質問と答弁は要約されています

議会だよりでは、質問、答弁の内容を要約して載せています。

質問、答弁の全文について詳しくお知りになりたい方は、町役場議会事務局までお問い合わせ下さい。

議員 坂本 志郎
**中学卒業まで医療費を無料化し
 子育て支援をすべき**

町長 医療費の適正化を含めて検討する

坂本 志郎 議員



高校卒業まで全額助成、中標津町と羅臼町は道の基準通りで小学校卒業まで一部助成となっています。

私はお金の心配なく子どもが医療機関にかかれるようにすることは急務であると考えます。羅臼町で中学校卒業まで医療費を無料化した場合、対象人数は六四五名、必要コストは千六百万円との事ですが、財政上の問題もあるとは思いますが、少子化対策・子育て支援として、羅臼町も一歩踏み出すべきと考えます。

子どもの医療費無料化を求める運動は全国に広がり、北海道でも道の基準（就学前まで助成・小学校卒業まで入院のみ助成）を上回って助成を拡大する市町村は、現在の段階で一〇七を超え、現在は更に増えています。根室管内でみると、根室市は小学校卒業まで上乗せ助成・高校卒業まで入院のみ助成、別海町は中学校卒業まで全額助成、標津町は

湊屋 町長
 昨年十二月、議会での質

問を受け、現在の財政状況では助成拡大は難しいとの答弁をさせていただきました。

私自身「子育て支援」については、厳しい状況にあっても少しずつでも進めたいと考えておりますし、子育て家庭の経済的支援につきましましては「医療費の適正化」を含めて検討する。



議員 坂本 志郎
**羅臼高校の存続対策を
 どう考えているのか**

町長 羅臼高校の「存続検討協議会（仮称）」を早急に立ち上げる

質問

道の二〇一九年度の公立高校配置計画案では、来年三月の中学校卒業予定者は五十六人で一学級増になるようです。

道の現行基準では、一年生が二十人未満で将来の生徒増が見込めなければ統廃合の対象となります。

羅臼高校の存続を維持するための手立てが必要で

湊屋 町長

今後、一学年の在籍数が二十人未満になると将来の羅臼高校の再編についての打診があるものと予想されております。このようなことから、羅臼高校の「存続検討協議会（仮称）」を早急に立ち上げ、羅臼町全体の教育の将来イメージを描きつつ、その手立てを今から検討していく必要があると考えています。

議員 坂本 志郎
坂本議員その他の質問

- 認知症対策について
- 修学旅行誘致について



羅臼高校

議員 田中 知床らうすブランドマークについて

町長 全国へ発信してPRに努める

田中 良議員



質問

羅臼町の知床ブランドマークは、現在どのような取り組みと今後の活用とPRはどのような計画を持っているのか伺います。

湊屋 町長

羅臼の水産物のおいしさは広く知られているところでありますが、町内で生産される、または羅臼産の原材料を使っている品物の中



で自信をもって広くPRできる逸品を全国へ発信することにより、知名度向上を図るとともにブランド品のPRや販売促進・販路拡大を図るために漁協・商工会・観光協会・加工振興協会と町で立ち上げたものであり、今後は各イベント等で知床羅臼ブランド商品をメインに深層水商品・ふるさと納税の返礼品とともにPRしていく計画をしている。

質問

「地理的表示保護制度（通称GI）の羅臼町としての考え方・展開方法はどのような取り組みをするのか町長の考え方をお伺いする。

田中議員

GIマークについて

町長

「羅臼昆布」の知名度の向上と生産者の所得増加に発展する可能性がある

湊屋 町長

地理的表示保護制度（通称GI）とは品質、社会的評価その他の確立した特性が産地と結びついている産品について、その名称を知的財産として保護するものであることから、町内の農林水産物では「羅臼昆布」以外は対象になるものはありません。また、申請者は生産・加工業者の団体となっております。「羅臼昆布」であれば羅臼漁協のみが対象となります。

制度の大枠は、登録した産品については、品質に「お墨付きを与える」こと、他の産品との差別化を図られ、不正な地理的表示の使用は行政が取り締まることになっていく。

なお、国では、TPP発効後国内でGI登録された産品の輸出促進にもつなげていきたいと考えて示しているため、町としても、漁協が申請及び登録することによって、知名度の向上、商工業の活性化及び観光分

野までの波及につながり、昆布生産者の所得増加にも発展する可能性があると考えております。



町政はあなたのために!! 議会を傍聴してみませんか。



- * 町議会の定例会は年4回（3・6・9・12月）開きます。
- * 町議会の臨時会は必要に応じて随時開きます。

第3回 議会報告会

副議長 佐藤 晶

去る四月十九日、午後六時より役場会議室に於いて第三回目の報告会を開催致しました。

今回は連合町内会を通じて十七連合町内会の皆さんに集まって頂きました。

報告会は、平成二十八年第一回定例議会について、それぞれ担当議員より報告がありました。特に町長、教育長の二十八年度行政執行方針に対する質問及び一般質問が主であり、質問者四人が質問内容、理事者の回答等を説明したところで

す。又、今年一年間の予算四十一億六千九百一十八千円を審議した羅臼町の台所内容が予算特別委員会委員長より報告がありました。

この他に二十七年年度補正予算、条例関係十三件、羅臼町体育館指定管理者指定の件、羅臼町第七期総合計画、羅臼町過疎地域自立促進町村計画策定、人事案件、教職員定数削減に反対する意見書等の説明報告を致しました。

盛り沢山の内容でしたが、三回目の報告会とのこと

あり担当議員も事務的な説明にならないよう考えながら進めたところです。

最後に参加頂いた皆さんより質問がありました。

一、除雪対応に関する事
一、観光事業に関する事
一、介護福祉に関する事
等出され、説明できる範囲の中でお答えし、報告会を終了致しました。御出席の皆さんには日中お疲れの折、大変有難う御座いました。



議員報告会をご希望される団体やグループ等は、議会事務局までご連絡下さい。

(電話：87-2180)



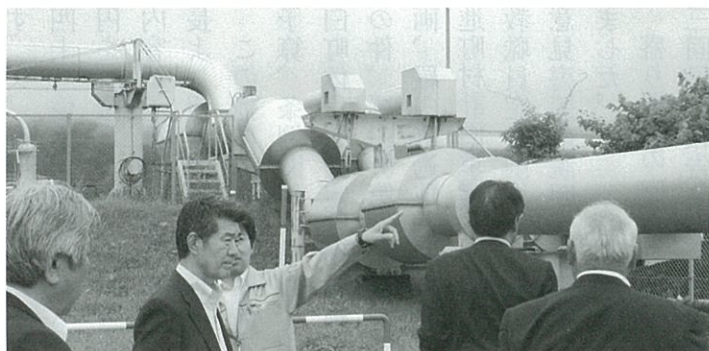
Zoom up!

地熱利用視察研修

7月6日～7日



町内で議論が進められている地熱の有効活用方法について、町議会としても見聞を広めるため、平成二十八年度北海道町村議会議員研修会に合わせ、森町地熱発電所から排出される地熱水利用園芸ハウスと、苫小牧市にある天然ガス、木質チップ、ヒートポンプ等による室内管理による生産プラント施設と、ごみの減量化に取り組むクリーンセンターとリサイクルプラザ苫小牧を訪れ研修をしてきました。



森町地熱発電所

森町濁川地区にある北海道電力株式会社で、昭和五十七年から運転が開始された施設で、二万五千kwを発電している。地熱を利用するにあたり、民地に隣接するためパイプラインで発電所まで導入している。熱水の三割程度しか利用していないため、協定により無料で農業団地に提供している。



地熱水利用園芸ハウス

農業団地では、導入された熱水を熱交換機を通して野菜ハウスで利用、トマト、キュウリを栽培している。ここで栽培される野菜は二毛作が可能となり、今では年間を通して出荷することが出来るようになり、冬の間の出稼ぎもしなくて良くなったこと、安定供給による出荷先の拡大も図られることになり、農家所得も増加していることを代表者から説明を受けた。悩みは、ここも後継者不足が深刻な問題となっていた。



スマートアグリ 生産プラント

苫小牧市苫東団地内の約六万二千㎡に、トマト、リーフ、南国フルーツを栽培する生産プラントで、生産から販売まで行う施設。

栽培棟の内部では、天然ガス・木質チップ・温泉熱を利用した植物の成長にかかせない光・CO₂・温度・養分により光合成を行い、品質にこだわった野菜づくりを目指している。

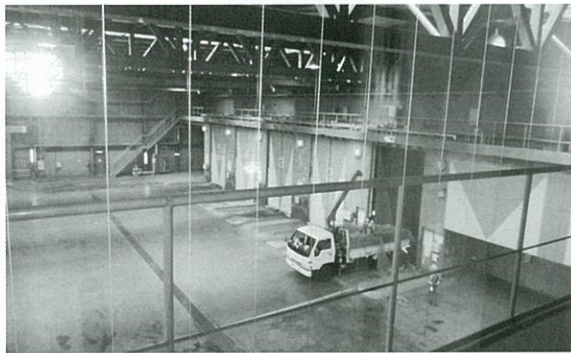
販路も百貨店等に高級野菜として直販している。



沼ノ端クリーンセンター

苫小牧市民の家庭ごみと近隣二町からの可燃ごみを焼却する焼却施設と、家庭から出された不燃・粗大ごみを破碎し資源物を回収する破碎施設からなっている。可燃ごみを焼却した火力を利用した火力発電を北海道電力に販電している。

更に破碎されるごみから鉄やアルミ等は資源としてリサイクルされ、年間一千二百万円程の収入となっている。



リサイクルプラザ苫小牧

沼ノ端クリーンセンターと併設されて、リサイクルプラザがあり、ペットボトルなどの資源ごみのリサイクル製品の展示、牛乳パックを利用した「はがき作り」廃食油からの「石けん作り」等、体験学習や講習会も開催されている。

リサイクル家具や自転車の販売も行っており、出された粗大ごみも修理されて安く販売されていた。



北海道町村議会研修会（札幌市）

北海道町村議会議長会主催による平成二十八年度議員研修会が、七月五日「札幌コンベンションセンター」で開催された。議員九名と事務局員二名、計十一名の一行は、研修会終了後、森町の地熱発電所・苫小牧市の「リサイクルプラザ苫小牧」等の視察研修も予定されており、初日の研修会とあって真剣な表情で二人の講師のお話に聞き入っていました。先ず最初は「ひとを動かす、まちを動かす」と題して立正大学客員教授の高野誠鮮氏、現役の仕事でもある氏は、石川県羽咋市の職員として過疎と高齢化集落の活性化に取り組んだ事例をもとに、発想豊かなお話をして下さいました。二人目はテレビでもお馴染みの長谷川幸広氏。東京新聞・中日新

聞論説副主幹として、またテレビ政治番組のレギュラー出演者の視点から、「日本の行方」政局・政治展望」と題して番組の裏話も交えながら日本の進むべき方向や現在の政局などを解りやすく解説して下さいました。会場を埋め尽くした約二千名の参加議員は、講師の巧みな話術にいつの間にか引き込まれ、熱心に聞き入っていました。



聞論説副主幹として、またテレビ政治番組のレギュラー出演者の視点から、「日本の行方」政局・政治展望」と題して番組の裏話も交えながら日本の進むべき方向や現在の政局などを解りやすく解説して下さいました。会場を埋め尽くした約二千名の参加議員は、講師の巧みな話術にいつの間にか引き込まれ、熱心に聞き入っていました。

議会の動き

5月

- 10日～11日 道東4地区管内町村議会議長会連絡協議会
(遠軽町) 議長
- 11日 「衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会」
北方領土視察に伴う行政関係者との懇談・要望会
(根室市) 副議長
- 16日 さけ稚魚放流式 議長
- 17日 松江市議会教育民生委員会行政視察対応
- 18日 議会運営委員会
- 21日～23日 東京らうす会第24回総会(東京都) 議長
- 25日 総務民生・経済文教合同常任委員会
- 26日 第1回臨時町議会
全員協議会
- 27日 根室地方総合開発期成会定期総会(根室市) 議長
地域高規格道路根室中標津道路整備促進期成会総
会(根室市) 議長
- 29日 羅臼町消防団春季総合訓練大会
経済文教常任委員長
- 29日～6月1日 平成28年度町村議会議長・副議長研修
会(東京都) 正・副議長

6月

- 6日 第1回根室北部消防事務組合議会臨時議会
(中標津町) 正・副議長ほか
羅臼町議会議員OB会総会 議長
- 8日 議会運営委員会
- 9日～10日 北海道町村議会議長会第65回定期総会及び
議長・事務局長研修会(札幌市) 議長
- 13日 経済文教常任委員会
- 14日 総務民生常任委員会
- 15日 議会運営委員会
- 16日 第2回定例町議会
- 18日 第55回知床開きオープニングセレモニー 副議長
- 19日 第55回知床開き(千人踊り)参加
- 25日 連合町内会創立50周年記念式典・祝賀会
正・副議長
- 26日 根室管内消防団員技能競技訓練大会 議長
- 27日 議会だより編集特別委員会
根室地方林活議連役員会及び総会
(中標津町) 1名

7月

- 5日～6日 北海道町村議会議長会主催議員研修会
(札幌市) 全議員
- 6日～8日 羅臼町議会道内行政視察研修
(森町・苫小牧市) 全議員
- 11日 議会だより編集特別委員会
- 18日 青森県西目屋村行政視察

編集を終えて

いつも議会だよりをご覧頂きまして有り難うございます。議会だよりは、年四回開催される定例議会終了後に発行しています。議会終了直後に編集委員会を開き、委員長を中心に各号の内容が検討され、数回の編集作業をへて発行されます。毎号十ページ程度の議会だよりですが、前号以降の議会の動きを町の皆様にお知らせしたいとの思いで取り組んでおります。

羅臼消防団

春季総合訓練大会



平成二十八年年度羅臼消防団春季総合訓練大会が、五月二十九日羅臼漁港で開催されました。あいにくの雨と海からの冷たい風をものともせず、

の精鋭百八名はきびきびとした動きを見せ、とても頼もしく感じられました。国旗掲揚に始まる式典は、指揮者の号令に従い敬礼、人員報告、服装点検などが一糸乱れぬ連携で披露されました。式典に続きいよいよ分団対抗の競技開始です。競技は小型ポンプによる「標的倒し」から始



まりました。重いホースを担ぎ駆け足でホースを継ぎ足して放水、標的を倒すまでの時間を競います。続いて「ホース巻きリレー」、選手は防火衣・防火ヘルメット・防火長靴姿で素早くホースを収納箱におさめ二本目を巻きにかか

るのですが、巻き方が悪いと箱におさまらず苦労することになります。「バケツリレー」では、スピードと水をこぼさぬ丁寧さが求められ「ジェットシューター消火競技」では、素早い水の補給と初期消火の正確な放水が求められます。四種の競技を終え、第四分団が見事勝利を収めました。日頃忙しい団員皆さんが、寸暇を惜しんで訓練に励まれているご様子がかがわれ、深い感謝と敬意の念を抱きました。

